

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位  
 対象学年組：第1学年 1組～ 8組  
 教科担当者：（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）  
 使用教科書：（「精選 言語文化」三省堂 ）  
 教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
古文入門 「児のそら寝」	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史的仮名遣い、文節や単語など区切りに注意して音読させる。</li> <li>古語辞典の使い方を理解した上で、主要な語句の意味を確認し、古文と現代文の違いを理解させる。</li> <li>読解を通して当時の人々の生活や説話の面白さを理解させる。</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	○			〈知識・技能〉 ・文節や単語など区切りに注意して音読することができる。【指名読み】【音読テスト】 ・古語辞典の使い方を理解し、使いこなすことができる。【ワークシート】 〈思考・判断・表現〉 ・主要な語句の意味を確認し、古文と現代文の違い理解している。【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・作品の読解を通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】	○	○	○	3
古文入門 「絵仏師良秀」	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞の活用を理解する。</li> <li>人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取る。</li> <li>登場人物の心情を理解し、それに対する自分の考えを持つ。</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	○			〈知識・技能〉 ・動詞を抽出し、活用表を作ることができる。【ワークシート】【小テスト】 〈思考・判断・表現〉 ・人物（行動や心情）、情景（場面、状況、風景）、出来事（何を、どうした）を読み取ることができる。【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・作品の読解を通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】	○	○	○	4
定期考査						○	○		1
1学期 『枕草子』 「春はあけぼの」 「ありがたきもの」	<ul style="list-style-type: none"> <li>用言の活用を理解する。</li> <li>文章に表れたものの見方・考え方をとらえる。</li> <li>身の回りの物事から「をかし」「ありがたし」と感じることを探し、文章にまとめる。</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	○			〈知識・技能〉 ・文章の形態の違いを区別し、随筆という文章の表現技法や語句の使い方をとらえて読むことができる。 ・用言の活用を理解し、活用表を完成させることができる。【ワークシート】【小テスト】 〈思考・判断・表現〉 ・文脈をとらえ、筆者のものの見方・考えなどを読み取り内容を解釈することができる。【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開などについて、積極的に考えを深め自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】	○	○	○	8
『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 「奥山に、猫またといふものありて」	<ul style="list-style-type: none"> <li>文中の用言を見つけ出し、文法的説明をする。</li> <li>読解を通して、文章の形態の違いを区別し、随筆という文章の表現技法や語句の使い方を理解する。</li> <li>文脈をとらえ要約することで、筆者の考えを読み取る。</li> <li>一人1台端末の活用</li> </ul>	○			〈知識・技能〉 ・文章の形態の違いを区別し、随筆という文章の表現技法や語句の使い方の工夫をとらえて読むことができる。 ・用言の活用を理解し、文法的説明ができる。【ワークシート】【小テスト】【定期考査】 〈思考・判断・表現〉 ・文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり、指定された字数で要約したりすることができる。【ワークシート】【定期考査】 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・作品の読解を通して、積極的に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。 【学習活動の振り返りシート】	○	○	○	8
定期考査						○	○		1

